

村尾技建

次のステージへ第一歩 設立50周年で記念式典



村尾社長

今年2日に設立50周年を迎えた村尾技建（村尾治祐代表取締役社長、新潟市中央区）は17日、新潟市中央区のホテルで記念式典を開催した。現役社員やOBを含めた62人が参加し、50年の節目を祝うとともに、次の50年に向けた歩みを始めた。

式辞で、村尾社長は私たちの歩みは決して平坦ではありませんでした。新しい時代の変化の中で柔軟に対応していかなければなりません。そして当社が大事にしている人の力や現場力をこれからも生かしていくのか。それがこれからの最大の挑戦」としながら「村尾技建が100年企業となるためには、今いる社員、これから仲間になる若い世代が挑戦を恐れず学び続け、自らを高めていくことが不可欠。この50年で築いた技術と信頼をしっかりと受け継ぎ、そこに新しい視点と技術、仲間との強い絆を加えて次のステージへと進んでいきたい」と力を込めた。



来賓祝辞で村尾建治相談役は同社が設立当初から社会貢献に力を入れていることに触れ「村尾技建が地域に貢献している事例として中越地震、中越沖地震



村尾相談役

では同業者の中で先頭に立って被災地復旧のために被災地全体の地質調査・コンサルタントに全力投球をし、新潟県や北陸地方整備局から活動が高く評価された」ことを紹介。同社がリードし全国で初めて国の機関（北陸地整）と北陸地質調査業協会が災害協定を結んだことは「全国でもトップの企業として認められていた証」と胸を張り、今後も高い技術力と営業力で地質調査や災害対応などの分野で貢献するに期待を寄せた。

